

2026 年度兵庫医科大学大学院

学 生 募 集 要 項

薬学研究科 医療薬学専攻

博士課程

学校法人兵庫医科大学 建学の精神

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

目次

| | |
|-------------------------|------|
| ●入学試験日程 | p.1 |
| ●アドミッションポリシー（入学者受入れの方針） | p.2 |
| ●出願概要 | p.3 |
| ●試験概要 | p.5 |
| ●合格発表・入学手続および学費について | p.6 |
| ●入学資格申請について | p.7 |
| ●薬学研究科 概要 | p.8 |
| ●試験時間中の注意事項・対応・不正行為について | p.12 |
| ●試験会場アクセス | p.14 |

<出願書類一式>

本学ホームページよりダウンロードの上、両面印刷にてご使用ください。

兵庫医科大学ホーム>学部・大学院>大学院>入学案内（大学院）>大学院入学試験 募集要項

<https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/graduate/admission/requirements/>



個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験実施（出願処理・試験実施）②合格発表③入学手続および、これらに付随する業務以外には使用しません。

その他、個人情報保護に関する法規に基づき、厳重なセキュリティー対策を施します。

入学試験日程

●事情により入試日程に変更が生じる場合は、ホームページ上でお知らせします。

I 期

募集人員：3名

<日程>

| 2025年8月 | 9月 | 10月 |
|----------------|--------------|---------------|
| 8/4(月)~21(木) | 9/4(木)~12(金) | 10/8(水) |
| ←→ | ←→ | ←→ |
| 入学資格審査 申請期間 | 出願期間 | 合格発表 10時 |
| 8/29(金) | 9/27(土) | 10/9(木)~20(月) |
| ● | ● | ● |
| 審査結果 通知 | I期 入学試験 | 入学手続期間 |

※ I 期のみ、台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。

II 期

募集人員：若干名

<日程>

| 12月 | 2026年1月 | 2月 |
|----------------|-----------------|--------------|
| 12/1(月)~8(月) | 12/24(水)~1/8(木) | 2/4(水) |
| ←→ | ←→ | ←→ |
| 入学資格審査 申請期間 | 出願期間 | 合格発表 10時 |
| 12/16(火) | 1/24(土) | 2/5(木)~16(月) |
| ● | ● | ● |
| 審査結果 通知 | II期 入学試験 | 入学手続期間 |

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

薬学研究科の使命に共感し、高度な研究能力を有する薬剤師を目指す者、薬学的研究課題を科学的に解決する薬学研究者を目指す者で、以下のすべてを備えた人を求めています。

【求める人物像】

1. 研究能力を獲得するための基盤となる薬学的知識を有する人
2. 関連・先行研究の調査力と研究成果の発信力を獲得するのに必要な英語力を有する人
3. 医療現場における諸課題や薬学的研究課題を見出し、それらを解決する能力を身に付けたいという意欲を有する人

【選抜方式】

1. 専門科目：薬学の基礎知識と配属を希望する専門分野の専門知識を判定します。
2. 外国語：薬学や医療に関する英語の能力を判定します。
3. 面接：医療現場における諸課題や薬学的研究課題を見出し、それを解決する能力を身に付けたいという意欲を持っているかどうかについて判定します。

募集人員

- 〔I期〕3名
- 〔II期〕若干名

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 大学の医学、歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者
(入学日前月の末までに卒業見込みである者を含む)
- ② 修士の学位又は専門職学位を有する者(入学日前月の末までに学位取得見込みである者を含む)
- ③ 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む)
- ④ 外国において、学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学)を修了した者(入学日前月の末までに修了見込みである者を含む)
※外国においては18年ではない場合があるので、別途入学資格審査の対象となります。
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者
- ⑥ 研究科において、個別の入学資格審査により、第1号又は第2号に定める者と同等以上の学力があると認められた者で、入学日前月の末までに24歳に達した者

※出願資格④⑥により出願を希望する者、及び4年制大学を卒業した者で修士の学位を取得していない者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。

→対象者はP.7へ

出願概要

出願期間

I期：2025年9月4日（木）～9月12日（金）【必着】

II期：2025年12月24日（水）～2026年1月8日（木）【必着】

- 出願期間内に必着するように、郵送または持参してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日及び年末年始(2025年12月27日(土)～2026年1月4日(日))を除く平日9:00～17:00とします。

出願方法

出願書類をとりまとめ、角2の封筒に「封筒貼付用宛先用紙(本学HPよりダウンロード)」を貼付し、必要事項を記入の上、「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。

〒650-8530

神戸市中央区港島1丁目3番地6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

受験希望分野の担当教員との事前相談

- 出願者は受験希望分野の担当教員と事前に必ず連絡を取り、博士課程において取り組みたい研究内容について相談してください。その場合、担当教員のメールアドレス（P.11）を参照し、教員と直接メールにて連絡をとってください。
- 長期履修制度については担当教員に相談のうえ、「長期履修申請書（本学HPよりダウンロード）」を出願書類に同封してください。

出願上の留意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願書類に虚偽があった場合には、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- 一旦提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 出願書類の受理後、受験票を発送します。試験日の2日前になっても受験票が届かない場合は、神戸教学課 大学院係（078-304-3014）に連絡してください。

身体的に支障または障がいをもつ者の出願

身体的に支障または障がいをもつ、受験上および修学上特別な配慮を希望する者は、原則として、各試験の1か月前までに神戸教学課 大学院係（078-304-3014）へご相談ください。なお、専門医の診断書等障がいの程度を示す書類を提出していただく場合があります。

出願書類等

<共通の必要書類>

| 必 要 書 類 | 摘 要 |
|--------------|---|
| A 入学願書 | 本学 HP (薬学研究科) からダウンロード |
| B 志望理由書 | |
| 成績証明書 | 出身大学・大学院の学校長が作成し、厳封*したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。 ※4年制大学を卒業し、かつ修士の学位を取得した者(見込を含む)は、修士課程の成績証明書と併せて学部の成績証明書も提出すること。 |
| 卒業、修了(見込)証明書 | 最終出身学校の学校長が作成し、厳封*したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。 |
| 受験票・名票 | 本学 HP (薬学研究科) からダウンロード 出願時から3ヶ月以内に撮影したカラー写真(縦4cm×横3cm、上半身、正面、脱帽、無背景)を用意し、裏面に氏名を記入のうえ、所定の欄に貼り付けてください。 |
| 入学検定料 | 30,000円(振込明細書の写しを提出) ※出願期間の2週間前より振込可能。 ※出願期間内に必ず受験者本人名義で振込ください。 (手数料本人負担) ※振込依頼人名の前に「インケンテイ」と入力してください。 (例) 「インケンテイヒヨウゴタロウ」 金融機関 : 三井住友銀行 支店名 : 西宮支店 預金種別 : 普通預金 口座番号 : 8899641 ヒョウゴイカダイガク コウベシンニューセイガクノウキングチ 口座名義 : 兵庫医科大学 神戸新入生学納金口 |
| 返信用宛名用紙 | 本学 HP (薬学研究科) からダウンロード 郵便番号、住所、氏名を記入したもの(3通分)。 ※入学試験合格者に対して、入学手続書類等を発送するために使用します。 |
| 受験票返信用封筒 | 定型封筒(長形3号)に郵便切手(普通料金)を貼り、受験票を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入してください。 |

※出願資格④⑥により出願を希望する者、及び4年制大学を卒業した者で修士の学位を取得していない者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。→対象者はP.7へ

・厳封* : 偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

<該当者のみ提出>

| 必 要 書 類 | 摘 要 |
|---------|----------------------------|
| 長期履修申請書 | 教員に事前相談して申請許可を得た者のみ提出すること。 |

試験概要

試験日

I 期：2025 年 9 月 27 日（土）

II 期：2026 年 1 月 24 日（土）

※ I 期のみ、台風等の自然災害や、やむを得ない事情により実施できない場合は、試験日の翌日（予備日）に実施します。当該日程での試験中止および予備日を適用する場合は、試験日の前日 15 時までに本学ホームページにて通知します。

試験会場

本学（神戸キャンパス）（巻末参照）

※試験会場周辺道路は、全面駐車禁止のため、公共の交通機関を利用してください。

選抜方法

| 試験科目 | 試験時間 |
|---------|-------------------|
| 外国語(英語) | 10:00～11:00 (60分) |
| 専門科目 | 11:30～12:30 (60分) |
| 面接 | 13:20～ |

※外国語(英語)の試験には、英語の辞書（ただし、電子辞書を除く）1冊の持ち込みを認めます。

試験当日の注意事項

1. 受験室への入室及び遅刻

- (1) 受験室の配置は試験当日に試験会場にて通知します。悪天候等の交通機関への影響を十分留意し、試験開始時刻に遅れないよう、特に注意してください。
- (2) 試験会場周辺の公共交通機関の乱れや遅れが生じ、試験当日、多くの受験者に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を変更（繰り下げる等）することがあります。試験開始時刻に変更がある場合については、本学ホームページでお知らせします。ただし、このことに伴う受験者の不利益について本学は責任を負いません。
- (3) いかなる理由があっても、追試験・再試験は実施しません。
- (4) 受験室へは試験開始 15 分前までに入室してください。試験開始後 30 分以上の遅刻は認めません。
- (5) 受験票を忘れた場合は、受験室に入室する前に申し出てください。
- (6) その他の注意事項を P.12 以降に記載していますので必ず確認してください。

2. 昼食

昼食及び飲料が必要な場合は、各自持参してください。

3. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患して治療していない者は、他の受験生や試験監督者に感染が拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。

該当する場合、あるいは該当するかどうかわからない場合は、試験当日の朝 8 時までに神戸教学課 大学院係 (daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp) までご連絡ください。

合格発表・入学手続および学費について

合格発表

I期：2025年10月8日（水） 10時

II期：2026年2月4日（水） 10時

- 本学ホームページに合格者の受験番号を掲示します。
- 学内掲示は行いません。
- 合格者には合格通知書および入学手続書類を簡易書留速達郵便で発送します。
- 不合格者には通知は行いません。
- 本学への電話・郵便等による可否の問い合わせには一切応じません。

入学手続等

1. 入学手続期間

I期：2025年10月9日（木）～10月20日（月）【必着】

II期：2026年2月5日（木）～2月16日（月）【必着】

※入学手続期間中に手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

2. 手続方法

入学手続期間中に入学金および授業料、教育充実費（前期分）を所定の振込依頼書で納入してください。また、入学手続書類については、合格通知書に同封しますので上記手続期間内までに届くようにしてください。

3. 納付金

- (1) 入 学 金 100,000 円
- (2) 授 業 料 200,000 円（前期分）
- (3) 教育充実費 50,000 円（前期分）

※上記金額以外に学外実習に関する費用を個別に徴収する場合があります。

※本学（旧 兵庫医療大学含む）出身者および学校法人兵庫医科大学の教職員は、入学金を免除します。

※後期分の授業料および教育充実費は、入学年度の10月以降に納付していただくことになります。

※長期履修制度の許可を受けた者には、履修年限に応じた金額を通知します。

4. 入学辞退をする場合

入学辞退を申し出て2026年3月31日（火）午後5時までに所定の辞退届を提出した者に限り、授業料および教育充実費（入学金は除く）の返還を請求することができます。

ただし、一旦提出された入学手続書類は返還しません。上記期限以降に辞退を申し出た場合、入学手続書類および入学金、授業料、教育充実費（前期分）は一切返還しません。

既修得単位認定制度について

この制度は、本学が教育上有益と認めるときに、学生が入学する前の大学院における既修得単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）について、本学において修得した単位として認める制度です。ただし、申請時から遡って4年以内に修得した授業科目が対象となり、この制度は入学時にのみ適用されますので全ての認定希望科目を一括申請してください。希望者は2026年2月27日（金）までに必要書類を揃えて申請してください。

入学資格申請について

個別の入学資格審査を希望する者(出願資格④⑥、4年制大学卒業者で修士の学位を取得していない者)は、次の必要書類を揃えて申請してください。

必要書類

| 必 要 書 類 | 摘 要 |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 入学資格審査申請書 | 本学 HP (薬学研究科) からダウンロード |
| 入学資格審査結果通知用封筒 | 定型封筒 (長形 3 号) に郵便切手 (書留速達料金) を貼り、通知を確実に受け取れる郵便番号、住所、氏名を記入してください。 |

申請期間

I 期 : 2025 年 8 月 4 日 (月) ~ 8 月 21 日 (木) 【必着】

II 期 : 2025 年 12 月 1 日 (月) ~ 12 月 8 日 (月) 【必着】

- 申請期間内に必着するように、郵送または持参してください。郵送の場合には、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きし、必ず「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日及び本学神戸キャンパス夏季一斉休暇期間(2025年8月7日(木)~8月15日(金))を除く平日9:00~17:00とします。

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学 (神戸キャンパス) 神戸教学課 大学院係宛

認定結果の通知

I 期 : 2025 年 8 月 29 日 (金)

II 期 : 2025 年 12 月 16 日 (火)

※審査の結果は、上記の日程に申請者へ通知 (発送) します。

薬学研究科 概要

薬学研究科は、使命を実現するために、下記の能力を身に付けた人材の養成を目標とします。

1. 医療現場における諸課題を薬剤師の視点から見出し、それを解決する臨床的研究を立案・遂行し、医療の質向上と変革を推進することができる薬剤師。
2. 薬学分野における研究課題を科学的視点から見出し、それを解決する基礎的研究を立案・遂行し、医薬品創製、生命現象の解明、生命科学の進展などに貢献できる薬学研究者。

教育課程

薬学研究科の研究指導科目は9分野から構成されています。

●臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学

医薬品の個別化適正投与をめざし、臨床ゲノム薬理学と分子薬物動態学を基盤とした以下のテーマに関する研究指導を行います。研究テーマの主題は「個の医療の確立」で、ゲノム薬理学、分子薬理学、分子薬物動態学、数理解析学を駆使した研究が主体となります。

- ①薬物代謝酵素群および薬物標的分子をターゲットとする臨床ゲノム薬理学の確立および診断ツールの開発
- ②アポトーシス誘導型抗がん剤の分子薬物動態を基盤にした、テーラーメイドがん治療への挑戦
- ③疾病等による薬物代謝酵素活性変動の分子メカニズム解明と臨床現場への還元
- ④より有効かつ安全な癌化学療法を目指した抗がん剤耐性機構の解明と抗がん剤感受性因子の探索

●物理薬科学

次世代の検査・治療法の開発につなげるため、生体内物質を可視化するための蛍光プローブ分子やタンパク質のラベル化試薬、発光・光触媒・磁性ナノ材料などの新規材料を設計・合成し、これらの構造・物性を明らかにしていきます。その目的のため、物理化学的手法・分析化学的手法や方法論を用いて、以下に示す研究テーマに取り組んでいます。

- ①生理活性物質の生体内ダイナミクス解析に資する蛍光プローブおよびラベル化試薬の開発に関する研究
- ②蛍光プローブの開発に資する新規蛍光色素の創製に関する研究
- ③近赤外光を用いた発光や光触媒特性を有する化合物の開発に関する研究
- ④磁性ナノ材料の創製と会合状態の制御に関する研究
- ⑤新規な固体触媒の創製とその構造・機能評価に関する研究

●応用医療薬学

医療における薬剤師の職能拡大を視野に入れ、特に薬剤投与に関する様々な問題点を明らかにし、その解決に必要なシステムやデバイスの研究開発や薬物療法の個別最適化をめざした研究を行います。また、セルフメディケーション・セルフケアに関連する研究も行います。具体的には以下に示す研究テーマに取り組み、薬剤師の社会的地位の向上をめざした研究を推進していきます。

- ①自己注射（インスリン、成長ホルモンなど）の補助器具に関する研究
- ②デバイスの違いが薬剤投与に与える影響に関する研究
- ③薬剤投与における個別化医療に関する研究
- ④薬学投与におけるママ・パパサポートに関する研究
- ⑤セルフメディケーションにおける地域薬剤師の役割に関する研究

●レドックス生物学・免疫制御学

活性酸素の健康利用と免疫制御に関する研究を通じて、がんや慢性炎症の克服を目指します。生化学・分子生物学的手法と免疫学的手法などを用いて、以下のテーマに取り組めます。

- ①抗酸化酵素による活性酸素代謝の生理的役割に関する研究
- ②抗酸化酵素の翻訳後修飾と細胞内分布に関する研究
- ③自然免疫と適応免疫の連携による抗腫瘍免疫の強化に関する研究
- ④免疫抑制性がん微小環境の形成とその制御に関する研究

●神経病態制御学

慢性難治性疼痛や虚血性神経障害などの神経系における病態について、分子生物学的、電気生理学的、行動薬理学的手法を用いて解析を行い、その発生機序を解明するとともに、薬物による病態制御法の開発と臨床応用に向けてのシーズ探索を行います。

- ①痛覚伝達系における疼痛関連受容体の機能調節に関する研究
- ②痛覚伝達系における神経活性物質の発現調節に関する研究
- ③慢性難治性疼痛発生と治療の分子メカニズム解明に関する研究
- ④慢性難治性疼痛に対するシーズ探索に関する研究
- ⑤虚血性神経障害の病態解析と治療法開発に関する研究
- ⑥神経伝達障害の病態解析と認知症治療法開発に関する研究
- ⑦神経疾患における漢方治療の効果とメカニズム解析に関する研究

●天然物合成化学

新規医薬品の開発とそれを支える基盤新技術の構築をめざして、次世代型薬化学研究を行います。有機化学的・計算化学的手法を駆使して、有機合成化学のみならず、医薬品化学、創薬化学を高度化するための研究指導を行います。また、海洋生物や薬用植物などの天然由来資源から、医薬シーズとなる化合物を最新の知見をもとに開発したスクリーニング評価系を用いて探索します。見いだした生理活性化合物については、作用の解析や化学誘導による最適化など医薬品シーズとしての展開を図り、臨床適用可能な医薬リード化合物の開発をめざします。以下に示す研究テーマに取り組み、高度な研究能力を養います。

- ①新規ラジカル反応の開発とその立体制御に関する研究
- ②不安定な反応活性種の動的変化の追跡と反応制御に関する研究
- ③生物活性化合物の合成と新規医薬品のシーズ創出に関する研究
- ④PCA-1を標的とする分子標的抗がん剤リード化合物の探索研究
- ⑤抗がん剤開発を指向した腫瘍血管新生阻害物質の探索研究
- ⑥抗がん剤耐性克服物質の探索と耐性に関わる作用機序の解明研究
- ⑦知覚神経系に作用する新規鎮痛物質の探索研究

●臨床医薬品化学

「臨床」における「医薬品」に対して、「化学」を基盤とした研究を行います。実験を中心としたWet研究、データ解析を中心としたDry研究の実施が可能です。

Wet研究では、既存薬や既存薬の代謝物を新たな医薬品へと展開するドラッグリポジショニング、既存薬をリード化合物とした探索合成研究を展開します。さらに、2022年度からは、有機反応開発の研究も行います。

Dry研究では、JADERおよびFAERSを用いた医薬品有害事象データベース研究を行っています。さらに、データベース解析から得られた情報を基にした臨床研究へと展開したいと考えています。また、薬剤師の質向上を目指した薬学教育研究も展開しています。

- ①膠芽腫に対するドラッグリポジショニング研究 (Wet研究)
- ②抗がん薬による心毒性発症傾向の解析および予防薬の開発 (Dry & Wet研究)
- ③化学的な視点を基にした医薬品有害事象データベースを用いた種々の医薬品の有害事象解析 (Dry研究)
- ④コバルトなどの金属を用いた有機反応開発 (Wet研究)
- ⑤化学の臨床活用を目指した薬剤師教育プログラムの開発 (Dry研究)
- ⑥薬剤師・薬学生の医学文献評価能力向上に向けた教育プログラムの開発 (Dry研究)
- ⑦その他、薬学教育研究 (Dry研究)

●微生物学

血液感染症および新興再興感染症を起こす病原微生物ならびに微生物汚染・微生物劣化を招く有害微生物の制御をめざし、微生物学的、生化学的、薬理学的、免疫学的、分子生物学的手法を用いて研究を行っています。主な研究テーマは以下のとおりです。

- ①病原微生物、有害微生物の分離同定・性状調査に関わる研究
- ②新興再興感染症の流行および有害微生物の分布の実態解明に関わる分子疫学的研究
- ③病原微生物の感染性、病原性に関与する細胞内情報伝達機構の解明に関わる研究
- ④病原微生物、有害微生物の薬剤感受性/耐性機構の解明に関わる研究
- ⑤薬剤耐性獲得病原体の薬剤感受性回復誘導に関わる研究
- ⑥環境調和型の新規微生物制御技術の開発に関わる研究
- ⑦新興再興感染症の診断、治療、予防に関わる臨床的研究

●呼吸器疾患病態治療学

高齢化社会や喫煙・大気汚染・アスベスト曝露などの環境要因から、現代社会では肺癌・悪性中皮腫などの呼吸器悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、アレルギー性疾患である気管支喘息、難治性呼吸器疾患である間質性肺炎・肺線維症、呼吸器感染症である肺炎・肺結核など多岐にわたる呼吸器疾患は、増加の一途にあります。しかしながらそれらの病態や治療法は十分に解明・確立されず、まだまだ未知の領域です。

本研究指導科目分野では、(1) 臨床応用可能なバイオマーカーの確立、(2) 病態メカニズムの解明や(3) 新規治療法の開発などをめざして、細胞やマウスなどの動物を用いた基礎研究や臨床研究を行い、研究能力を養成します。そしてその研究成果を学会発表や論文発表して、学位取得できるように指導いたします。

授業科目一覧

薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | |
|--------------|---------------------------|-------|-----|------|
| | | | 必修 | 選択必修 |
| 薬学専門基礎科目 | 先端医薬学特論Ⅰ | 1 前 | 1 | |
| | 先端医薬学特論Ⅱ | 1 前 | 1 | |
| | 先端医薬学特論Ⅲ | 1 後 | 1 | |
| | 先端医薬学特論Ⅳ | 1 後 | 1 | |
| | 小計 (4) 科目 | — | 4 | 0 |
| 薬学専門演習科目 | 医薬品創製科学演習Ⅰ | 1 通 | | 4 |
| | 医薬品創製科学演習Ⅱ | 2 通 | | 4 |
| | 免疫病態制御学演習Ⅰ | 1 通 | | 4 |
| | 免疫病態制御学演習Ⅱ | 2 通 | | 4 |
| | 神経薬理・薬物治療学演習Ⅰ | 1 通 | | 4 |
| | 神経薬理・薬物治療学演習Ⅱ | 2 通 | | 4 |
| | 微生物学演習Ⅰ (基盤的微生物学演習) | 1 通 | | 4 |
| | 微生物学演習Ⅱ (先進的微生物学演習) | 2 通 | | 4 |
| | 分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅰ | 1 通 | | 4 |
| | 分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅱ | 2 通 | | 4 |
| | 医薬品適正治療科学演習Ⅰ (分子薬物動態学演習) | 1 通 | | 4 |
| | 医薬品適正治療科学演習Ⅱ (臨床ゲノム薬理学演習) | 2 通 | | 4 |
| | 応用医療薬学演習Ⅰ | 1 通 | | 4 |
| | 応用医療薬学演習Ⅱ | 2 通 | | 4 |
| | 呼吸器疾患病態治療学演習Ⅰ | 1 通 | | 4 |
| | 呼吸器疾患病態治療学演習Ⅱ | 2 通 | | 4 |
| 小計 (16) 科目 | — | 0 | 64 | |
| 薬学研究 指導科目 | 医療薬学特別研究 | 1~4 通 | 18 | |
| | 小計 (1) 科目 | — | 18 | 0 |
| 合計 (21) 科目 | | | 22 | 64 |

担当教員の連絡先

事前相談は下記の担当教員にアポイントを取った上で実施してください。

| 研究指導科目分野 | 担当教員 | 連絡先 |
|-----------------|--------|----------------------------|
| 臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学 | 南畝 晋平 | nonen@hyo-med.ac.jp |
| | 高良 恒史 | ko-takara@hyo-med.ac.jp |
| 物理薬科学 | 甲谷 繁 | kohtani@hyo-med.ac.jp |
| | 塚本 効司 | kotukamoto@hyo-med.ac.jp |
| 応用医療薬学 | 藤野 秀樹 | h-fujino@hyo-med.ac.jp |
| | 木下 淳 | at-kinoshita@hyo-med.ac.jp |
| | 上田 寛樹 | ueda@hyo-med.ac.jp |
| | 村上 雅裕 | aoyui@hyo-med.ac.jp |
| | 伊藤 都裕 | ito-s@hyo-med.ac.jp |
| レドックス生物学・免疫制御学 | 大河原 知水 | biochook@hyo-med.ac.jp |
| | 三浦 大作 | d_miura@hyo-med.ac.jp |
| | 小淵 修平 | kobuchi-s@hyo-med.ac.jp |
| | 田中 稔之 | tanaka@hyo-med.ac.jp |
| | 上田 晴康 | ueda-ph@hyo-med.ac.jp |
| | 大野 喜也 | y.ohno@hyo-med.ac.jp |
| 神経病態制御学 | 山本 悟史 | syamamot@hyo-med.ac.jp |
| | 北中 純一 | kitanaka@hyo-med.ac.jp |
| | 山中 博樹 | yamanaka@hyo-med.ac.jp |
| | 田中 康一 | koh-tanaka@hyo-med.ac.jp |
| | 大谷 佐知 | sachik@hyo-med.ac.jp |
| | 小暮 洋子 | y-kogure@hyo-med.ac.jp |
| 天然物合成化学 | 宮部 豪人 | miyabe@hyo-med.ac.jp |
| | 山岡 庸介 | yyamaoka@hyo-med.ac.jp |
| | 吉岡 英斗 | e.yoshioka@hyo-med.ac.jp |
| | 青木 俊二 | aoki@hyo-med.ac.jp |
| | 岩岡 恵実子 | miiwaoka@hyo-med.ac.jp |
| 臨床医薬品化学 | 清水 忠 | shimizu-t@hyo-med.ac.jp |
| 微生物学 | 長野 基子 | nagano-fujii@hyo-med.ac.jp |
| | 前田 拓也 | maedat@hyo-med.ac.jp |
| 呼吸器疾患病態治療学 | 田端 千春 | ctabata@hyo-med.ac.jp |

- 入学後の主たる指導教員は、事前相談時にある程度、決定することになりますが、入学後の課題テーマの最終決定の段階によって、変更することも可能です。

試験時間中の注意事項・対応・不正行為について

試験時間中の注意事項

- (1) 試験時間中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。また不正行為とみなされるような態度があった場合は、退室を命じ、全科目を無効とします。
- (2) 試験会場及び受験室において、他の受験者に迷惑となるような行為は禁止します。
- (3) 受験票以外に試験時間中に机に置けるものは、鉛筆またはシャープペンシル（黒、「HB」、「B」程度）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のものを除く）、眼鏡および時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、手のひらサイズを超えるような大きなものは不可）です。これら以外の所持品を置いてはいけません。なお、これらの筆記用具等の貸し出しは行いません。
- (4) 定規・コンパス・計算機（電卓等）及び計算/辞書機能等の付いた時計等の使用はできません。
- (5) 携帯電話・スマートフォン等の電子機器は入室前に電源を切り、かばんにしまっておいてください。これらを時計の代わりに使用することは認められません。時計はアラーム機能を解除しておいてください。
- (6) 原則としてウェアラブル端末を試験会場へ持ち込まないようにしてください。試験当日、誤ってウェアラブル端末を持ち込んだ場合、不正行為として取り扱う場合があります。
- (7) ハンカチ、ティッシュペーパー、ひざかけ、座布団、目薬、鼻薬等の使用を希望する者は、事前に監督者に申し出て許可を得てください。
- (8) 試験時間中の飲食（ガム・飴等を含む）はできません。
- (9) 英文字等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでいただくことがあります。（ロゴマーク、ワンポイントの柄程度は可）
- (10) 各科目とも、試験時間終了時刻まで退出できません。試験時間中に気分が悪くなった場合は、一時退室を許可することがありますが、その際に要した試験時間の延長は認めません。
- (11) 試験は本学が定めた時計により試験時間の管理を行います。また試験開始については、試験監督の判断により指示します。

試験実施に際しての対応

本学では、試験の実施に際して、公平で良好な受験環境を提供できるよう努めていますが、やむを得ず以下のような対応をとる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 地震、大雪、洪水等の自然災害、火災、停電、その他本学の責によらない不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、休憩時間の短縮、試験会場の変更等の措置をとることがあります。なお、それによって生じた受験生の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
- (2) 受験室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いは、一切考慮しません。
- (3) 試験時間中に、日常的な生活騒音等（航空機、自動車、風雨、空調音、動物の鳴き声、周囲の受験者の咳・くしゃみ、鼻をすする音等）が発生した場合、特別な措置は原則として行いません。
- (4) 試験時間中に、監督者が試験実施上必要な指示、説明、巡回を行うことによって生じる音等に対して、特別な対応はとりません。
- (5) 試験時間中に万一、携帯電話や時計等の音や振動が発生し、発生源となるかばん等が特定できた場合は、持ち主の同意なしに監督者が持ち出し、入学試験実施本部にて保管することがあります。
- (6) 他の受験生に迷惑と判断される行為がある場合は、受験の中止あるいは別室受験を指示する等の措置を講じることがあります。

不正行為について

以下に該当する行為は、不正行為です。不正行為を行った者は、その場で受験を中止し、退場していただきます。また、本学の当該年度の入学試験を全て無効とします。なお、入学検定料等は一切返還しません。

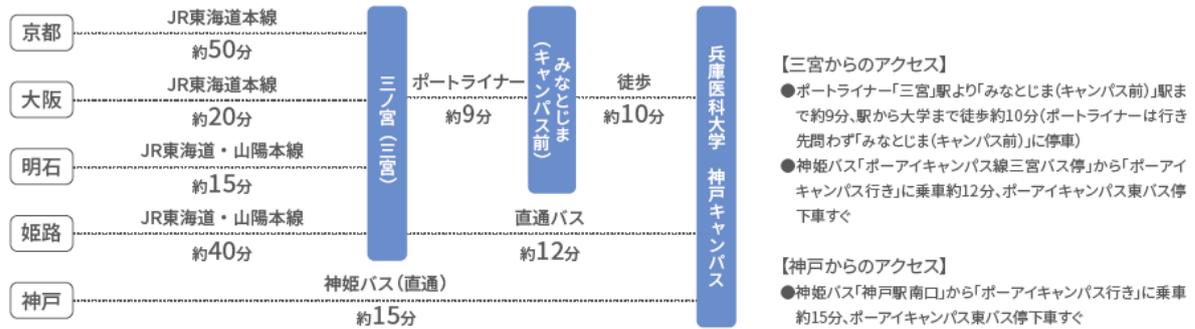
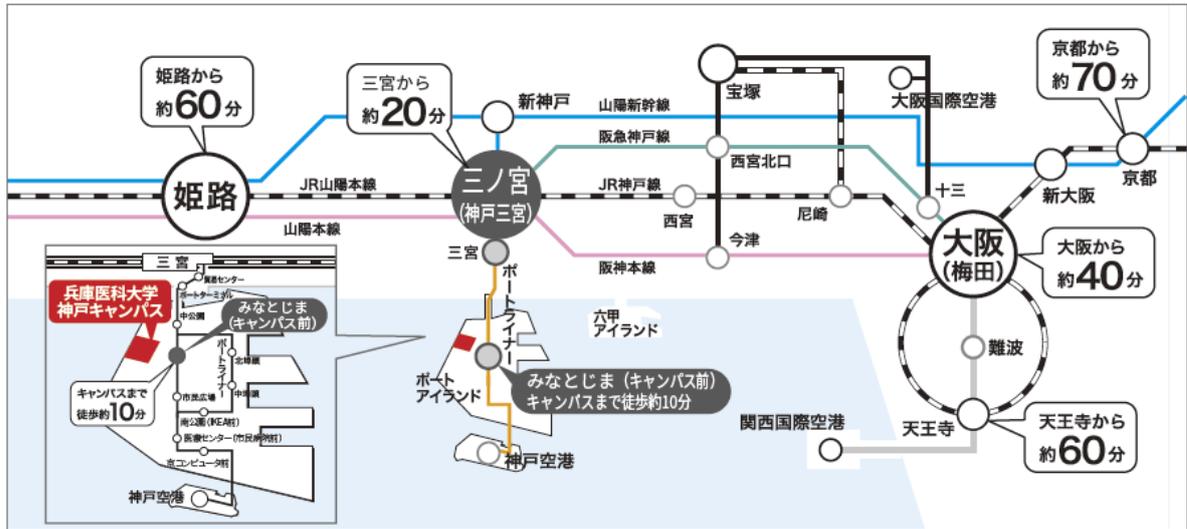
- (1) 解答用紙等へ故意に虚偽の記入をすること。(本人以外の受験番号・氏名を記入する等)
- (2) カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等)をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 試験時間中に、問題冊子・解答用紙を受験室から持ち出すこと。
- (5) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (6) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書やICレコーダー等の電子機器類を使用すること。(ストップウォッチ機能は使用できません)
- (7) 試験時間中に、定規等の補助具を使用すること。
- (8) 「解答を止めてください。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

また、不正行為の疑いがある以下に例示した(9)~(14)の行為の場合には、監督者が注意もしくは事情聴取することがあります。なお、その際に要した試験時間の延長は認めません。指示等に従わない場合は、不正行為とみなします。

- (9) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末や電子辞書等の電子機器類、定規等の補助具をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- (10) 試験時間中に、携帯電話や時計等の音や振動を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
- (11) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- (12) 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (13) 試験会場において監督者等の指示に従わないこと。
- (14) その他、試験の公平性を損なうようなおそれのある行為をすること。

試験会場アクセス

本学へのアクセス



■周辺案内図

